

新たな青少年プラザの基本設計（案）について

1 概要

「文の京」総合戦略（令和6～9年度）で示したとおり、中高生世代の自主的な活動を応援する取組の充実や活動の場の拡充が必要であるため、区内2か所目となる新たな青少年プラザを建設する。

なお、本施設内に育成室の併設を検討していたが、中高生の居場所の更なる充実を図るため、同地区内での整備を検討する。

2 敷地概要

- (1) 所在地 文京区大塚一丁目5番17号
- (2) 敷地面積 390.11 m²
- (3) 建蔽率 70%（60%＋耐火10%）
- (4) 容積率 300%
- (5) 用途地域 第一種中高層住居専用地域

3 主な意見

(1) 中高生

「静かに集中して自習ができる」、「落ち着いた空間で会話をしながら自習やクリエイティブな活動ができる」、「賑やかにゲームや談笑ができる」といった階層ごとのイメージ提案があった。また、「自習室・音楽スタジオがほしい」、「高速Wi-Fi」、「シアタールーム」、「机は仕切りがあり、スマホ等の充電が可能なコンセントがある」等の意見があった。

(2) 小学生

新たな青少年プラザでやってみたいこと（興味・関心があること）を尋ねたところ、低学年・高学年ともに「スポーツ・運動」と「ゲーム・読書」の回答が多く、次いで「料理・お菓子作り」、「工作」の順となった。

(3) 地域（青少年健全育成会・町会等）

「キッチンスタジオのようなスペース」、「そこに行かないと経験できないもの」、「着替えるスペース」、「勉強した後に息抜きができるスペース」、「ただらだらできる場所や、ホッとできる場所」等の意見があった。

4 基本設計の考え方

- (1) 基本コンセプトは、現青少年プラザと同様に、「中高生の自主性・社会性を応援する施設」、「中高生の秘密基地」とする。
- (2) 各階をゾーン分け（交流を図るフロア、体を動かすフロア、読書や音楽、工作などの創作的活動ができるフロア、静かに勉強ができるフロア）するが、緩やかな繋がりを持たせた設計とする。
- (3) 環境に配慮した、すべての人が利用しやすい施設に向けて、公共施設等総合管理計画に基づき、脱炭素化に向けたZEB化・省エネルギー化の推進やユニバーサルデザインへの対応を図る。

5 想定スペース

階層	構成
4階	自習室（3室）
3階	音楽スタジオ（2室）、クリエイティブスペース（工作室）
2階	談話スペース、シアターゾーン
1階	談話スペース、アイランドキッチン
地下1階	ホール（軽運動室）

6 今後のスケジュール（予定）

令和7年2月	議会報告（基本設計案）
4月～	現建物の解体工事
10月	埋蔵文化財調査
令和8年7月～	建設工事
令和10年度	開館